



心晴れ晴れ

晴田小学校だより 第5号

令和7年5月16日

文責 校長 高山 健

【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

「かつおタイム」ができるようになるためのとくみを考えよう～代表委員会～



12日(月)は代表委員会が行われ、標記議題について話し合いました。めあてとして示された『相手の方を見て聴く』『堂々と意見を伝える』というポイントは、しっかりと参会者に浸透しており、しまりのある時間でした。

途中、『ごほうび』について以下のような白熱した議論が始まりました。

□「ごほうびをもらうことが目的になってしまうのはおかしいのでは…」

■「がんばった達成感を味わうためにはごほうびが必要だと思う…」

議題について自分事として捉え、考えを主張したり、異なる考えを受け止めて折り合いを付けたりする姿は真剣で、私も議論の中に引き込まれてしまいました。熱い議論を経て決まった取り組みに、同じ熱量をもって取り組む子どもたちの姿に期待しています。

1年生の成長！～給食準備から見えること～



1年生の給食準備の風景が変わってきました。左写真にありますように、おかずやご飯をつぎ分けたり、配膳をしたりする役割を自分たちで担うようになりつつあります。もちろん、大人が補助する場面もありますが、責任を果たそうと意欲的に取り組む1年生の姿からは自覚と成長が感じられます。

右の写真は、授業参観の時にご協力いただいたアサガオの様子です。毎日の水やりと観察、声かけの成果もあり、1年生と同じようにぐんぐん成長しています。その喜びを、笑顔で伝える1年生の姿に癒やされている私です。



「できる喜び・分かる楽しさを感じる子どもの育成」～校内授業研究会～



本校では、標記主題のもとに算数科の指導法について研究をしております。14日(水)は、研究主任による提案授業が行われました。先生の緻密な授業計画に加え、テンポある問いかけや揺さぶりの発問によって、子どもたちは学びの世界へと誘われていました。そして、インプットとアウトプットを繰り返しながら、本時のねらいへと迫っていきました。授業後には、職員による授業研究会を行いました。よい点と課題点を整理しながら、それぞれの実践に活かす手立て等を考える場は、誰もが真剣で授業にかける熱意と創意が伝わってきました。指導助言には、小城市教育委員会より 学校支援指導主事様(前校長先生)に来ていただき、算数科の本質に迫るお話をいただきました。指導主事様には、年間を通じて本校の校内研究をサポートしていただくことになっており、心強く思っています。できる喜び・分かる楽しさを感じる子どもの育成を目指し、これからも職員一同力を尽くしてまいります。

水を通して、環境のことや水害のこわさを考えよう ～4年生 かがやき～



15日(木)は、校区内にお住まいの 様をお招きし、標記学習を行いました。ご自分で集められた資料をもとに、水には「命の水」と「暴れる水」の二つの側面があり、自分の命を守るために知っておくべき事柄は、子どもたちの心にも響く内容でした。自分の中に生まれた『問い』をもとに、自分なりの方法で調べたり、考えたり、実践したりする子どもたちの姿に期待しています。 様、今後ともよろしく願っています。